



三菱UFJ証券ホールディングス

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

2021年7月

・ 連結決算ハイライト	P2
・ 業績の推移	P3
・ 連結決算サマリー	P4
・ 業務別概要	P7

Appendix

・ 連結業績推移	P8
・ 連結貸借対照表の状況	P9
・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)の状況	P10
・ auカブコム証券・海外現地法人の状況	P13
・ 【ご参考】国内証券会社の状況	P14
・ 財務基盤関連指標(格付・自己資本規制比率)	P15

注)本資料掲載情報は、本頁以降、特段の追記がなければ表示単位未満は切捨て記載しております。
また、海外拠点の決算日は連結決算日と3ヶ月異なるため、累計業績推移・四半期業績推移は1～3月の実績となります。

累計業績推移

- 財務ベース業績は、純営業収益 491億円(前年同期比△23%)、経常損益 △132億円、親会社株主に帰属する当期純損益 △141億円
MUSAを含む実質ベースでは、純営業収益 690億円(同△11%)、経常損益 △78億円、親会社株主に帰属する当期純損益 △100億円
尚、米国顧客との取引に起因して3月に発生した損失影響約△290億円を除けば、財務・実質ベースとも増収増益(海外拠点決算は3ヶ月期ズレで連結決算に反映)
- 国内拠点は、対面営業活動の制約を余儀なくされた前年同期比で大幅増収。アドバイザリービジネスへのモデルシフト加速により、ストック資産・株式投信関連収益を着実に積み上げるとともに、大型引受案件の主幹事も多数獲得。また、仕組債償還ニーズの捕捉やエクイティ業務の収益改善も寄与
- 海外拠点は、米国顧客との損失が主因で大幅減収。キャピタルマーケットは健闘した一方、金利デリバティブが減速

(単位:億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※)		
	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率
純営業収益	645	491	△23%	780	690	△11%
販売費・一般管理費	636	697	+9%	765	840	+9%
経常損益	61	△132	—	62	△78	—
親会社株主に帰属する当期純損益	43	△141	—	44	△100	—

四半期業績推移

- 国内拠点は、大型引受案件の主幹事を多数獲得も、マーケット環境も追い風に好調だった前四半期対比では減速
- 海外拠点は、キャピタルマーケット業務が堅調だった一方、上述の要因が響き、大幅減収

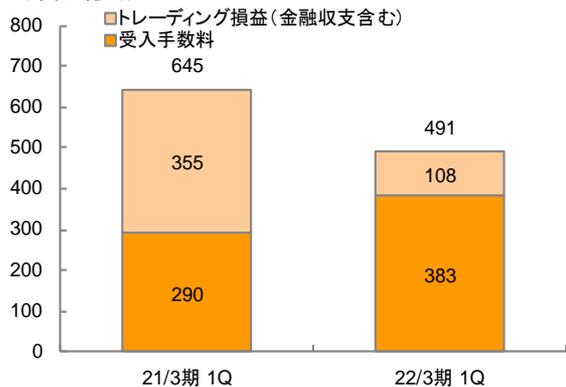
(単位:億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※)		
	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率
純営業収益	1,008	491	△51%	1,172	690	△41%
販売費・一般管理費	748	697	△6%	872	840	△3%
経常損益	313	△132	—	351	△78	—
親会社株主に帰属する当期純損益	141	△141	—	171	△100	—

※ MUFGセキュリティーズアメリカ(MUSA)は、2017年3月期3Qより米国プルデンシャル規制対応のため当社の連結対象外となりましたが、社内収益管理は引き続き同社を含めて行っているため、合算ベースを記載しております。

累計業績推移

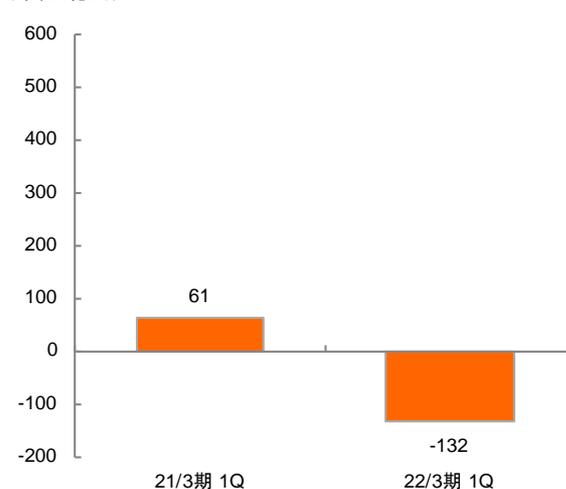
純営業収益

(単位:億円)



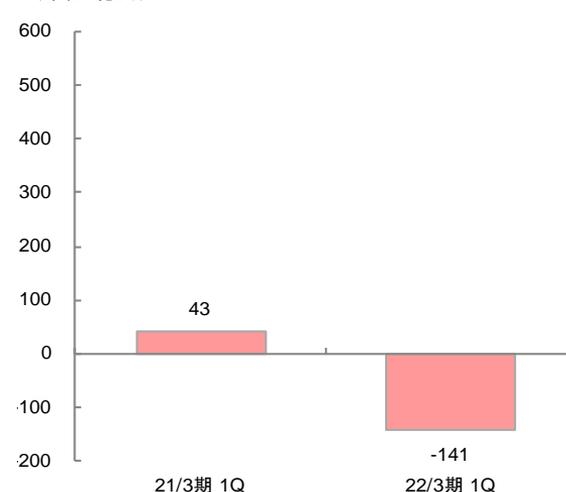
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

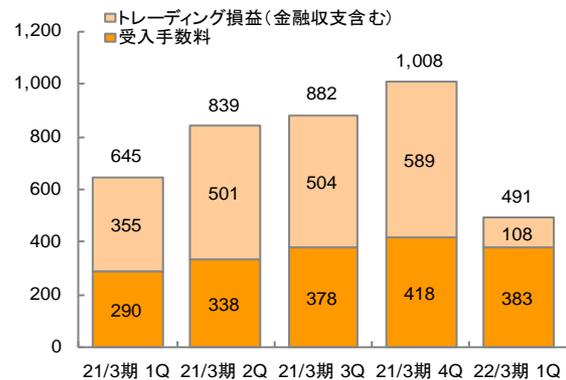
(単位:億円)



四半期業績推移

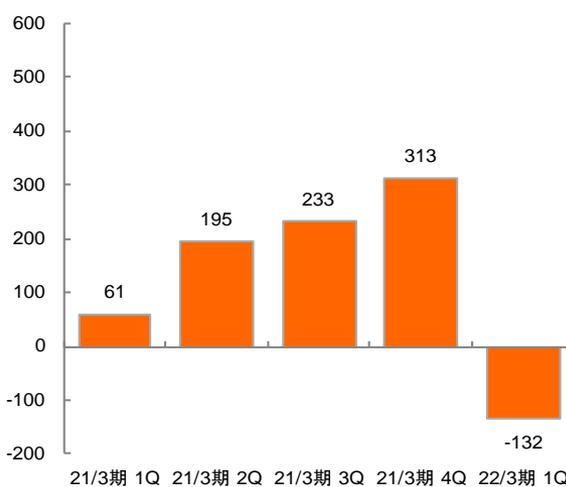
純営業収益

(単位:億円)



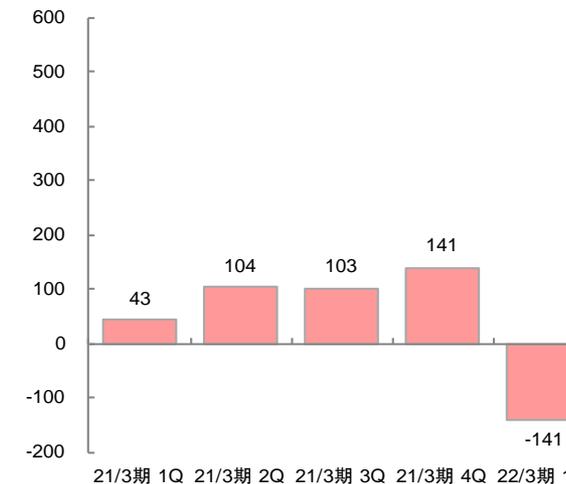
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

(単位:億円)



受入手数料

第1四半期実績: 383億円

■ 前年同期比 +93億円 (+32%)

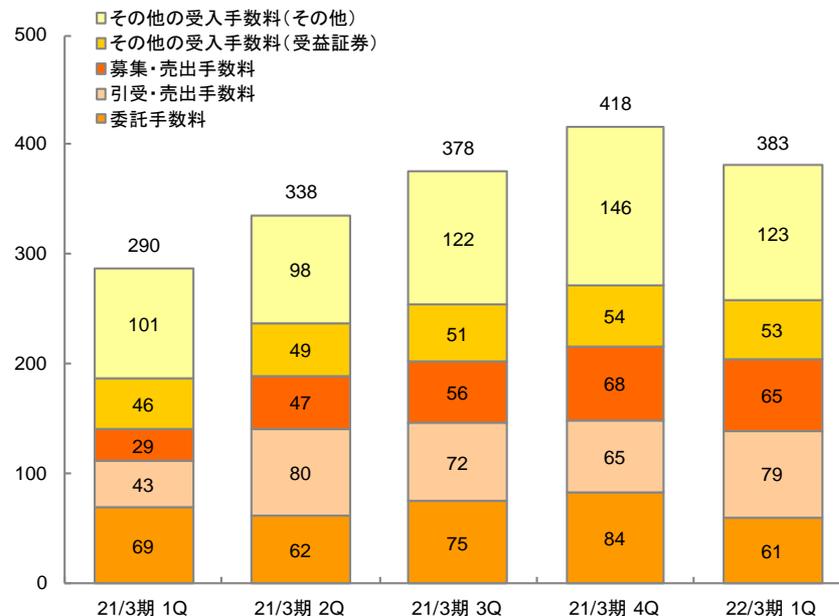
- 委託手数料: リモートでの株式提案活動が主体だった前年同期比ではほぼ横這い
- 引受・売出手数料: 大型引受案件の主幹事を多数獲得
- 募集・売出手数料: ストック資産拡大に向けた取組みにより大幅増収
- その他の受入手数料(受益証券): 株式投信の着実な積上げと時価の上昇により、資産残高が拡大
- その他の受入手数料(その他): グローバルオファリング案件や、M&A案件のクロージングにより収益を計上

■ 前四半期比 △35億円 (△8%)

- 委託手数料: 株式売買代金の減少により減収
- 引受・売出手数料: 良好な起債環境下で大型案件を獲得し増収
- その他の受入手数料(その他): 前四半期比ではM&A関連収益が減少

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)

	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率
委託手数料	69	61	△11%
引受・売出手数料	43	79	+82%
募集・売出手数料	29	65	+126%
その他の受入手数料(受益証券)	46	53	+15%
その他の受入手数料(その他)	101	123	+21%
合計	290	383	+32%

	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率
委託手数料	84	61	△26%
引受・売出手数料	65	79	+21%
募集・売出手数料	68	65	△3%
その他の受入手数料(受益証券)	54	53	△1%
その他の受入手数料(その他)	146	123	△15%
合計	418	383	△8%

トレーディング損益・金融収支

第1四半期実績: 108億円

■ 前年同期比 $\Delta 247$ 億円 ($\Delta 69\%$)

➢ エクイティ業務:

国内拠点は、デリバティブのポジション運営改善に加え、仕組債償還ニーズを着実に捕捉し復調
海外拠点は、米国顧客との損失が響き大幅減収

➢ フィクストインカム業務:

国内拠点は、ボラティリティ低下に伴い金利が減収となった一方、クレジットや仕組商品向けデリバティブが堅調で、全体ではほぼ横這い
海外拠点は、クレジットや証券化が復調するも米国金利を中心としたデリバティブやレポ等が減速し減収

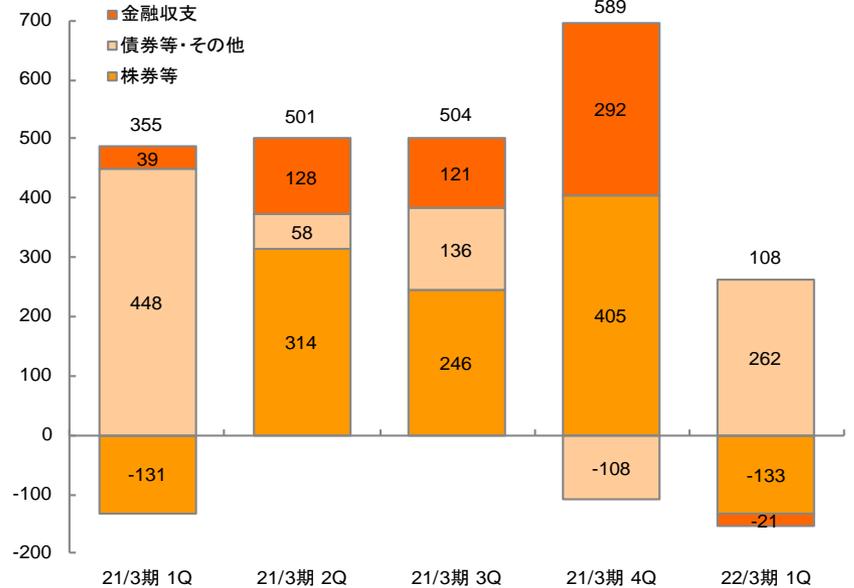
■ 前四半期比 $\Delta 481$ 億円 ($\Delta 81\%$)

➢ エクイティ・フィクストインカム業務:

国内拠点・海外拠点とも前四半期比では減速

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率
株券等	$\Delta 131$	$\Delta 133$	—
債券等・その他	448	262	$\Delta 41\%$
金融収支	39	$\Delta 21$	—
合計	355	108	$\Delta 69\%$

(単位: 億円)	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率
株券等	405	$\Delta 133$	—
債券等・その他	$\Delta 108$	262	—
金融収支	292	$\Delta 21$	—
合計	589	108	$\Delta 81\%$

(単位: 億円)	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率
エクイティ業務	119	$\Delta 112$	—
フィクストインカム業務	161	145	$\Delta 9\%$
合計	280	34	$\Delta 88\%$

【ご参考】管理会計ベース(※)

(単位: 億円)	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率
エクイティ業務	173	$\Delta 112$	—
フィクストインカム業務	278	145	$\Delta 47\%$
合計	451	34	$\Delta 92\%$

(単位: 億円)	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率
エクイティ業務	119	$\Delta 112$	—
フィクストインカム業務	161	145	$\Delta 9\%$
合計	280	34	$\Delta 88\%$

(単位: 億円)	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率
エクイティ業務	119	$\Delta 112$	—
フィクストインカム業務	161	145	$\Delta 9\%$
合計	280	34	$\Delta 88\%$

※MUMSSとMUSAを含む海外拠点の管理会計ベース計数を単純合算して記載しております。

販売費・一般管理費

第1四半期実績: 697億円

■ 前年同期比 +60億円 (+9%)

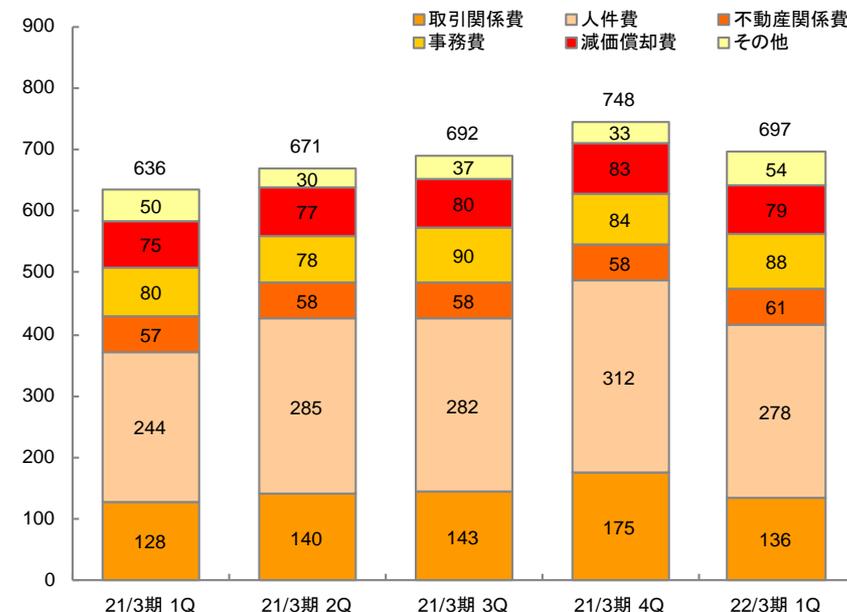
- 国内拠点: 業績連動賞与や取引関係費が増加
- 海外拠点: 円安ポンド高の進行等により円換算後の費用が増加

■ 前四半期比 △50億円 (△6%)

- 主として国内拠点で業績連動賞与や取引関係費が減少

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率
取引関係費	128	136	+6%	175	136	△22%
人件費	244	278	+13%	312	278	△10%
不動産関係費	57	61	+5%	58	61	+3%
事務費	80	88	+9%	84	88	+4%
減価償却費	75	79	+4%	83	79	△4%
その他	50	54	+8%	33	54	+63%
合計	636	697	+9%	748	697	△6%

(単位: 億円)	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率
取引関係費	128	136	+6%	175	136	△22%
人件費	244	278	+13%	312	278	△10%
不動産関係費	57	61	+5%	58	61	+3%
事務費	80	88	+9%	84	88	+4%
減価償却費	75	79	+4%	83	79	△4%
その他	50	54	+8%	33	54	+63%
合計	636	697	+9%	748	697	△6%

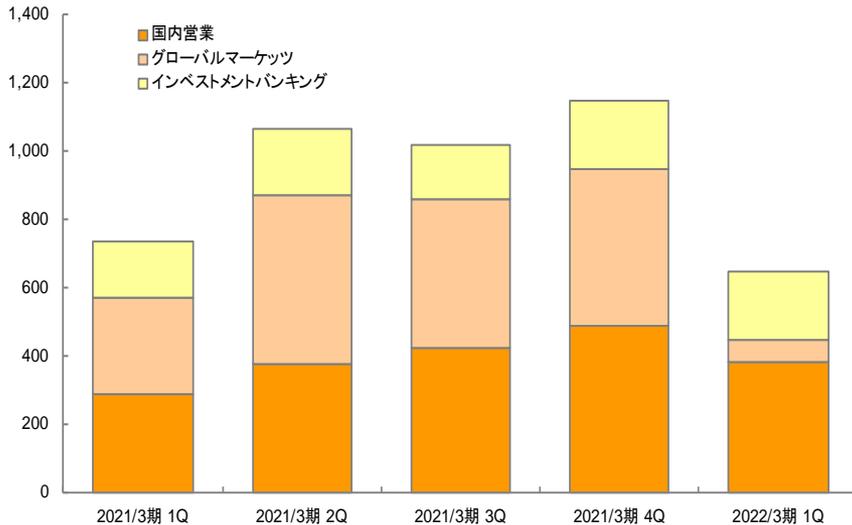
(単位: 億円)	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	前年同期比 増減率	2021年3月期 4Q	2022年3月期 1Q	前四半期比 増減率
取引関係費	128	136	+6%	175	136	△22%
人件費	244	278	+13%	312	278	△10%
不動産関係費	57	61	+5%	58	61	+3%
事務費	80	88	+9%	84	88	+4%
減価償却費	75	79	+4%	83	79	△4%
その他	50	54	+8%	33	54	+63%
合計	636	697	+9%	748	697	△6%

業務別概要(第1四半期実績)

- 国内営業とグローバルマーケットが前四半期比減収
- 国内営業: 株価上昇に伴う仕組債償還フローが一巡し、前四半期比で投信・仕組債販売が減少
- グローバルマーケット: 米国顧客との損失が主因で大幅減収。金利デリバティブ等のフロー・プロダクトも減速。
- インベストメントバンキング: 国内拠点は不動産関連業務の反動減で減収となったものの、海外拠点は堅調な市場環境を背景に増収

推移

(単位: 億円)



※MUSAを含む管理会計ベースで記載しております。

単位：百万円

累 計
四 半 期

	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q
営業収益	107,264	69,015
受入手数料	29,014	38,337
トレーディング損益	31,676	12,944
その他の営業収益	4	3
金融収益	46,568	17,730
金融費用	42,665	19,839
純営業収益	64,599	49,175
販売費・一般管理費	63,669	69,768
営業損益	929	△20,592
営業外収益	5,839	7,765
営業外費用	587	402
経常損益	6,181	△13,229
特別利益	—	—
特別損失	138	38
法人税等	1,526	△2,821
非支配株主に帰属する当期純損益	156	3,667
親会社株主に帰属する当期純損益	4,359	△14,114

	2021年3月期				2022年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業収益	107,264	84,455	88,795	107,542	69,015
受入手数料	29,014	33,825	37,810	41,887	38,337
トレーディング損益	31,676	37,278	38,256	29,745	12,944
その他の営業収益	4	—	—	—	3
金融収益	46,568	13,351	12,728	35,909	17,730
金融費用	42,665	527	557	6,703	19,839
純営業収益	64,599	83,927	88,238	100,838	49,175
販売費・一般管理費	63,669	67,197	69,257	74,857	69,768
営業損益	929	16,729	18,980	25,981	△20,592
営業外収益	5,839	2,863	4,446	5,499	7,765
営業外費用	587	28	54	118	402
経常損益	6,181	19,564	23,373	31,362	△13,229
特別利益	—	6	—	—	—
特別損失	138	331	1,718	2,303	38
法人税等	1,526	5,778	6,058	7,848	△2,821
非支配株主に帰属する当期純損益	156	2,990	5,241	7,078	3,667
親会社株主に帰属する当期純損益	4,359	10,469	10,354	14,131	△14,114

単位：十億円

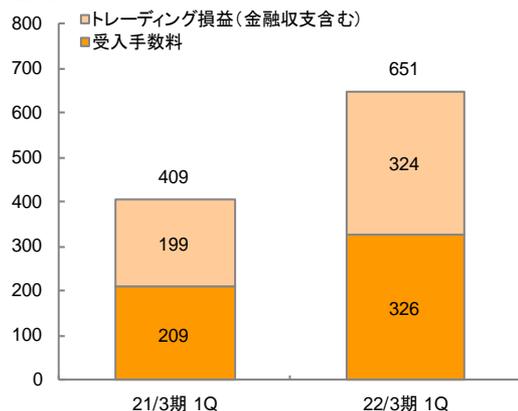
	2021年 3月末	2021年 6月末	増減額
資産の部			
流動資産	32,911	30,682	△2,229
現金・預金	1,840	2,035	+195
トレーディング商品	15,020	14,479	△540
有価証券担保貸付金	13,364	11,238	△2,125
その他	2,685	2,927	+242
固定資産	591	563	△27
有形固定資産	29	28	△0
無形固定資産	100	100	△0
投資その他の資産	461	433	△27
資産合計	33,502	31,245	△2,256

	2021年 3月末	2021年 6月末	増減額
負債の部			
流動負債	30,953	28,558	△2,394
トレーディング商品	11,953	11,075	△877
有価証券担保借入金	11,533	10,673	△859
短期借入金	2,759	2,355	△404
その他	4,706	4,453	△253
固定負債	1,567	1,707	+139
社債	804	860	+55
長期借入金	743	827	+84
その他	18	19	+0
負債合計	32,525	30,270	△2,254
純資産の部			
株主資本	725	705	△20
その他の包括利益累計額	△31	△7	+23
非支配株主持分	282	277	△5
純資産合計	977	975	△2
負債・純資産合計	33,502	31,245	△2,256

累計業績推移

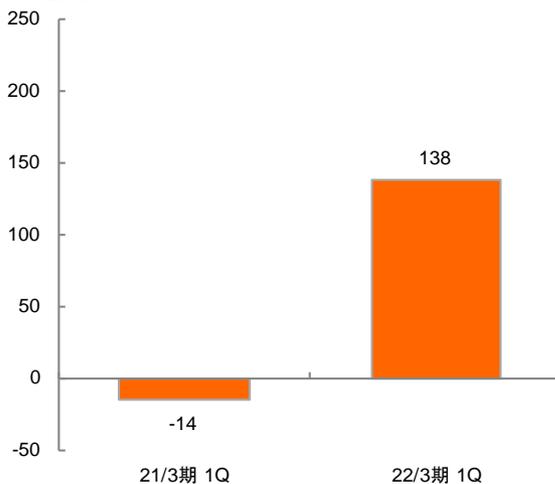
純営業収益

(単位:億円)



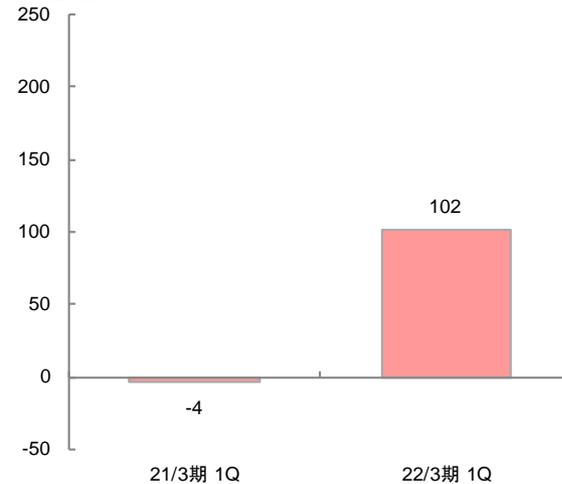
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

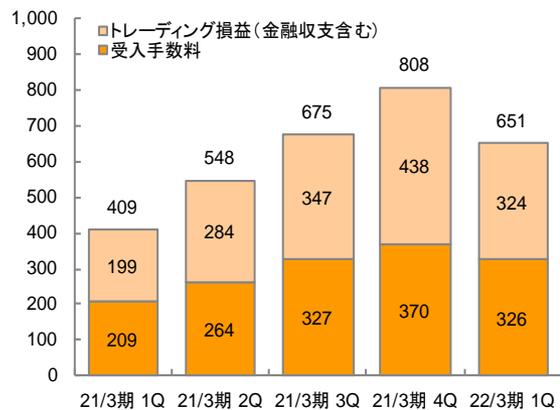
(単位:億円)



四半期業績推移

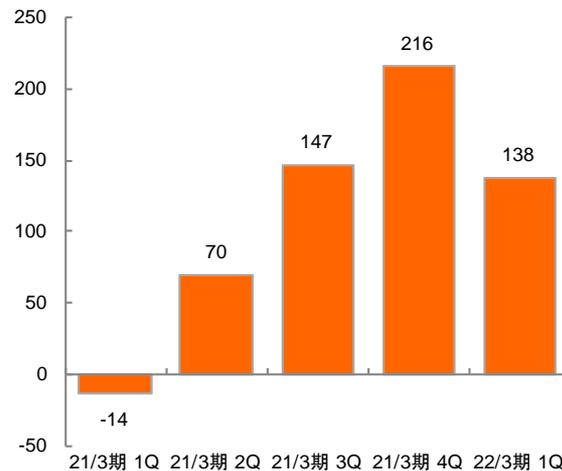
純営業収益

(単位:億円)



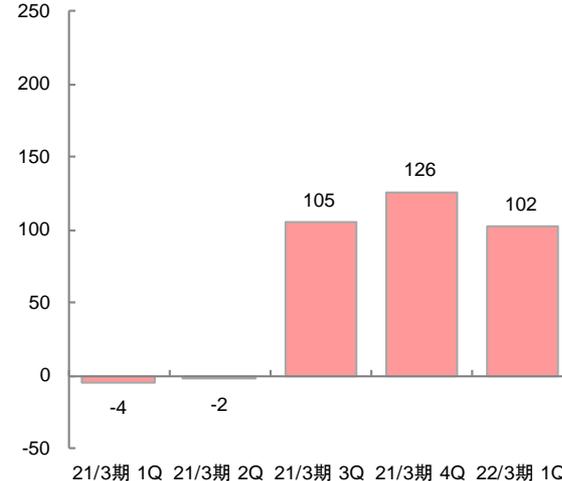
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

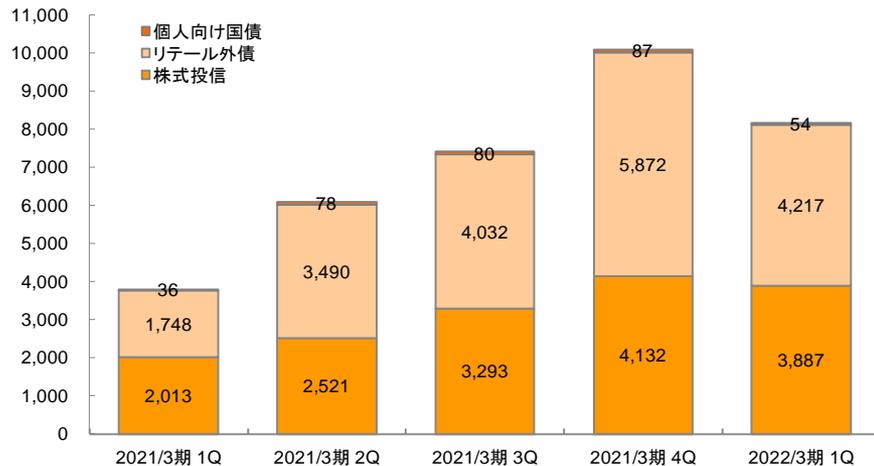
(単位:億円)



営業部門商品販売額

推移

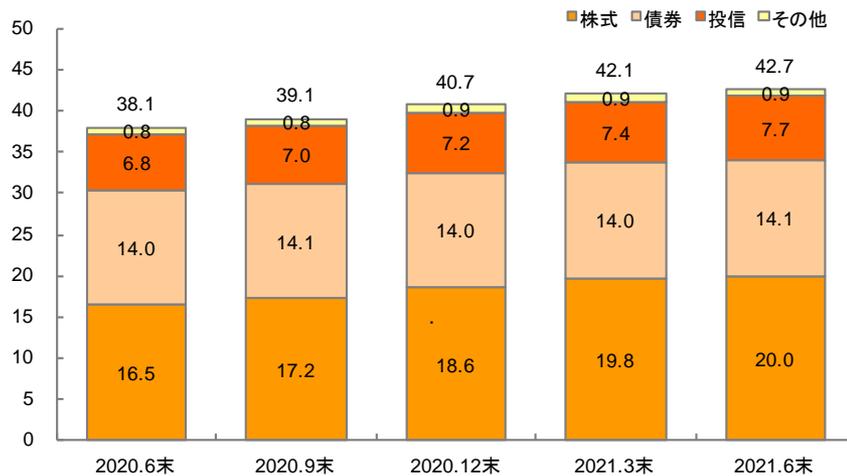
(単位:億円) ※2021年3月期1Qの計数は、旧MUMSPBとの単純合算ベースで記載しております。



預かり資産推移

推移

(単位:兆円) ※2020年6月末の計数は、旧MUMSPBとの単純合算ベースで記載しております。



(四捨五入表示)

投資銀行業務 ～ リーグテーブル(2021年4月～2021年6月)

債券(国内債+外債)総合シェア※1

順位	証券会社	シェア (%)
1	野村証券	18.9
2	みずほ証券	15.7
3	大和証券	15.6
4	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	14.2
5	SMBC日興証券	11.0
6	ゴールドマン・サックス証券	4.5
7	シティグループ証券	3.8
8	バークレイズ証券	3.0
9	JPモルガン証券	2.7
10	BofA証券	2.1

国内外エクイティ総合シェア※2

順位	証券会社	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	25.5
2	野村	17.4
3	大和証券グループ本社	14.5
4	BofA証券	13.8
5	みずほフィナンシャルグループ	8.5
6	三井住友フィナンシャルグループ	8.3
7	JPモルガン	4.8
8	UBS	1.9
9	ゴールドマン・サックス	1.7
10	SBIホールディングス	1.2

M&Aアドバイザー(取引金額ベース)※3

順位	アドバイザー	取引金額 (十億円)
1	BofAセキュリティーズ	2,060
2	ゴールドマン・サックス	1,849
3	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	1,627
4	JPモルガン	984
5	野村	973
6	クレディ・スイス	767
6	Jefferies LLC	767
8	バークレイズ	555
9	三井住友フィナンシャルグループ	457
10	プルータス・コンサルティング	137

※1: 出所: 国内債はREFINITIV及び同社提供のDealWatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等(高速道路債を含む)、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計
外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成

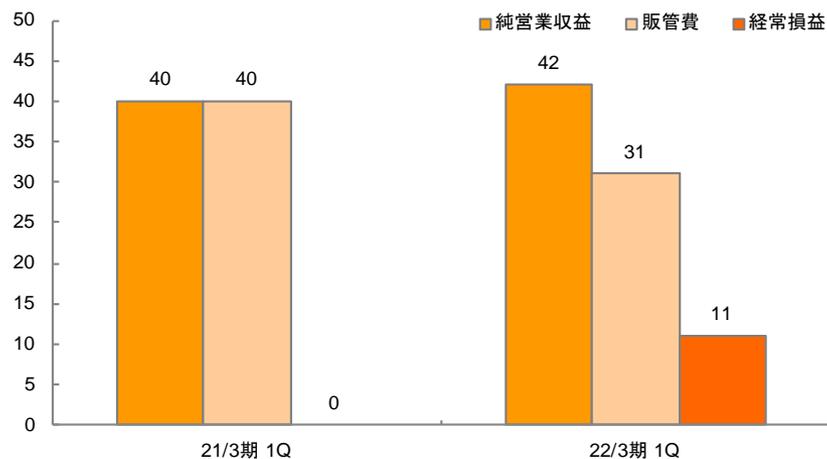
※2: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む

※3: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
日本企業が関わる公表案件(含、不動産取得案件)。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む

auカブコム証券 累計業績推移

推移

(単位:億円)



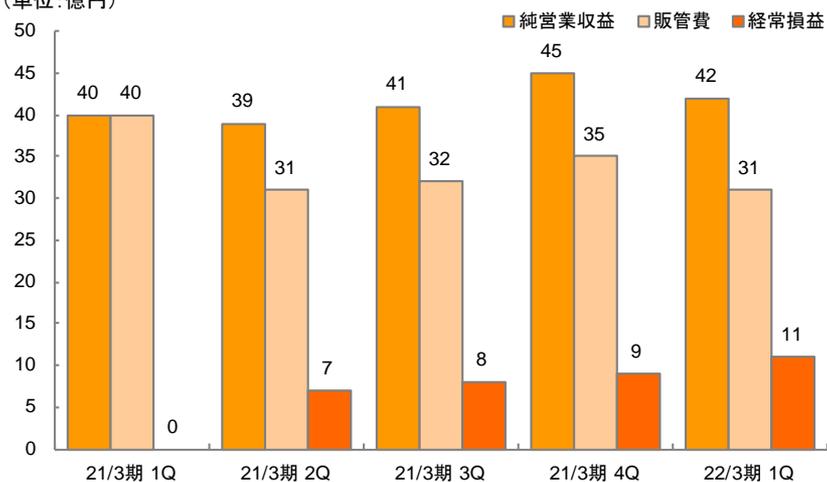
21/3期 1Q

22/3期 1Q

auカブコム証券 四半期業績推移

推移

(単位:億円)



21/3期 1Q

21/3期 2Q

21/3期 3Q

21/3期 4Q

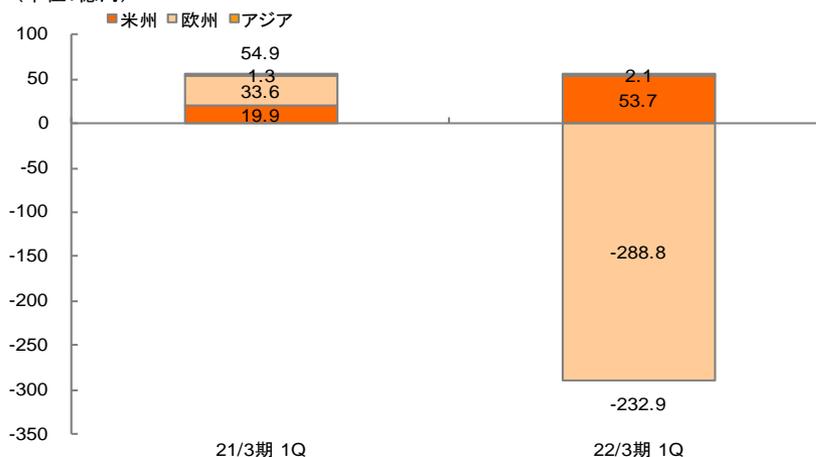
22/3期 1Q

海外現地法人 累計業績推移

経常損益

(単位:億円)

※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。



21/3期 1Q

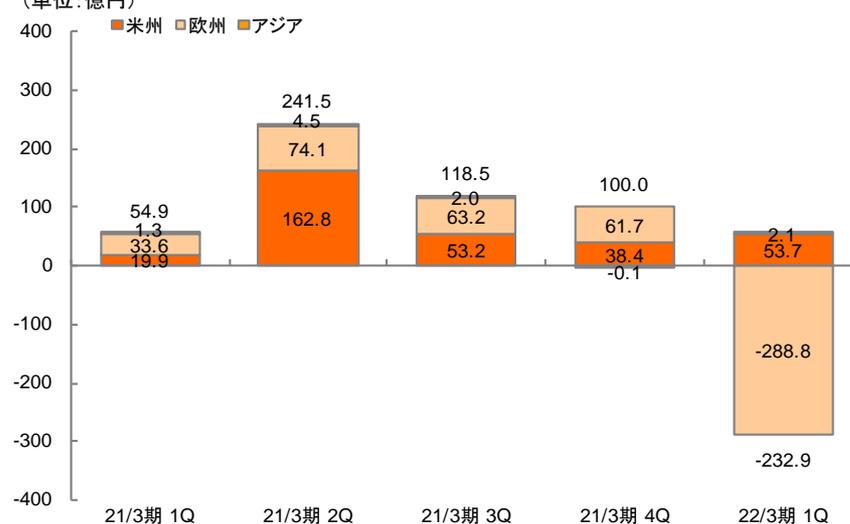
22/3期 1Q

海外現地法人 四半期業績推移

経常損益

(単位:億円)

※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。



21/3期 1Q

21/3期 2Q

21/3期 3Q

21/3期 4Q

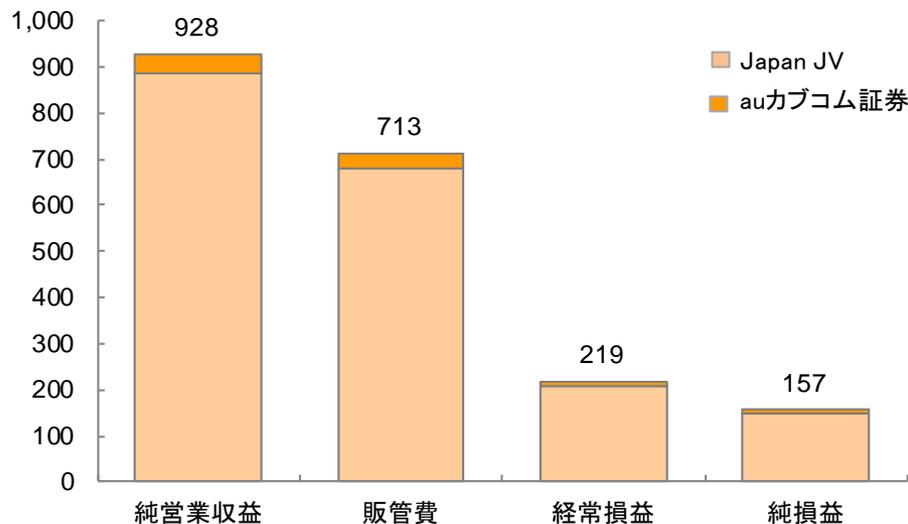
22/3期 1Q

国内証券会社 業績

- 国内証券会社の純営業収益は、単純合算で900億円超を計上
これには、日本におけるモルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーの一つで、持分法適用関連会社であるモルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）の純営業収益も全額含まれている
- 『国内証券会社』は、モルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーである2社（Japan JV）とauカブコム証券の合計3社

2022/3期 1Qの業績

（単位：億円）



※ 単純合算ベースで記載しております。

国内証券会社単純合算（単位：億円）	2022/3期 1Q
純営業収益	928
Japan JV	886
MUMSS	651
モルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）*	235
auカブコム証券	42
販売費・一般管理費	713
Japan JV	682
MUMSS	517
MSMS	164
auカブコム証券	31
経常損益	219
Japan JV	207
MUMSS	138
MSMS	69
auカブコム証券	11
純損益	157
Japan JV	149
MUMSS	102
MSMS	46
auカブコム証券	7

* モルガン・スタンレーMUFG証券は、持分法適用関連会社です。

外部格付

	R&I	JCR	Moody's	S&P	Fitch
--	-----	-----	---------	-----	-------

三菱UFJ証券ホールディングス

長期格付	AA-	AA	A1	A-	-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-2	-

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

長期格付	AA-	AA	A1	A	A-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-1	F1

MUFG Securities EMEA plc

長期格付	AA- **	AA **	A1	A	-
短期格付	-	-	P-1	A-1	-

MUFG Securities (Canada), Ltd.

長期格付	-	-	-	A	A-
短期格付	-	-	-	A-1	F1

MUFG Securities (Europe) N.V.

長期格付	-	-	A1	A	-
------	---	---	----	---	---

*CP格付

**MTNプログラム格付（優先債）

自己資本関連指標

自己資本規制比率 MUMSS

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の当期の自己資本規制比率につきましては、下記URLに掲載しております。

https://www.sc.mufig.jp/company/finance/cp_ratio.html



三菱UFJ証券ホールディングス

本資料は、2021年6月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入または売却の勧誘または推奨を目的としたものではありません。本資料は、2021年7月29日現在のデータに基づき作成されており、本資料に含まれる財務情報等は、監査法人によるレビューの対象外です。本資料に掲載されている事実および見解は、本資料作成時点において当社が認識している事実および当該時点における当社の見解であり、これらの情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。その他、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。なお、本資料のいかなる部分についても、著作権その他一切の権利は当社に帰属しており、電子的方法を含め、いかなる方法または目的であれ、当社に無断で複製、配布、転送等を行うことが禁止されますので、この点をご了承の上、本資料をご覧ください。